

令和元年度第1回北杜市図書館協議会会議録

- (1) 会議名：令和元年度第1回北杜市図書館協議会
- (2) 開催日時：令和元年5月27日（月）午前9時30分～午前11時30分
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者：協議会委員 高橋 正子／山中 長壽／手塚 正子／堀内 直美／
望月 淳一／深澤 雅子／金子 朋子／小澤 志保子
小淵沢小学校学校司書 五味 富貴子
事務局 堀内正基 教育長・中山晃彦 教育部長・坂本 あけみ・
大塚 美智子・小野 まどか
齊木 紀恵子（むかわ図書館）・中山 麻実子（小淵沢図書館）
- (5) 委嘱状交付：堀内教育長より協議会委員8名に交付
- (6) 自己紹介：協議会委員8名による自己紹介
- (7) 教育部長挨拶
- (8) 教育長挨拶
- (9) 役員選出：会長 山中 長壽 副会長 堀内 直美
- (10) 議題
 - ① 令和元年度事業計画と予算について
 - ② 子ども読書の杜プランの進捗状況について
 - ③ その他報告
 - ① 各図書館からの近況報告について
 - ② その他その他
 - ① 市内8図書館巡りの日程について
 - ② その他
- (11) 公開・非公開の別：公開
- (12) 傍聴人の数： 0人
- (13) 審議内容
署名委員を高橋正子委員と手塚正子委員へ依頼。

議 題

- ① 令和元年度事業計画と予算について
*事務局より資料に基づき特に増減が大きい費目（備品購入費、工事請負費）について説明（資料の訂正8ヶ所あり）

会 長：意見・質問等ございましたらお願いします。

委 員：臨時職員とアルバイトの違いは何ですか？

事務局：臨時職員は今年度から非常勤嘱託職員に名称が変わります。1日7.5時間フル勤務するのが嘱託職員、職員が休暇を取得する時や、出張、イベント時など人手が足りない時にはアルバイトを雇用しています。

委員：図書購入費が減っているのはなぜですか？

事務局：交付税が下がっていることもあり、図書館に限らず北杜市全ての部署において、人件費2%、管理事業費および運営事業費は5%減っています。

会長：臨時職員について昨年度は予算計上されていないのに、今年はされていますがなぜですか？

事務局：臨時職員から嘱託職員に変更になったことで費目が賃金から報酬に変わりました。確認不足で申し訳ありません。アルバイト職員はそのまま賃金からの支払となります。

委員：臨時職員から嘱託職員に変更になったことでメリットはあるのですか？

事務局：雇用が1年更新になること（臨時職員は6ヶ月更新）。雇用時間が1日7.75時間から7.5時間になること。ボーナスの額が変わること。夏休み日数や有給休暇が増えること。社会保障は臨時職員時代にもあり、引き続き受けられます。

委員：以前、司書は専門職であり重要な仕事を担っていて大変なので臨時職員ではあまりにも・・・という意見を出しましたが、待遇改善されたということですね。

事務局：一度に改善はできませんでしたが、来年度更に見直しされる予定です。

委員：希望されれば2年でも3年でも続継雇用は可能ですね？

事務局：図書館は地域密着型の施設なので、長く積んだ経験を活かして勤めてもらいたいと考えています。結婚・出産の場合はこの限りではありませんが、本人が希望すれば基本的に更新されます（65歳の年度末まで）。

委員：報酬は加算されるのですか？

事務局：まだ未定です。

会長：司書は重要な専門職なので、待遇改善が段階的に図られていくということですね。

事務局：事業計画について、令和元年度事業計画に基づいて主なものを説明

- ・6月29日（土）土曜ことば楽
- ・8月31日（土）第20回ことばの学校

② 子ども読書の杜プランの進捗状況について

*事務局より資料に基づき主なものについて説明

- ・学校等における子ども読書活動の推進
- ・保育園における読書活動の推進
- ・学校図書館との連携

委員：学童や放課後児童クラブにおける長期休暇時の取り組みはどこに載っていますか？

事務局：1ページの「地域における子どもの読書活動の推進」に載せています。

委員：具体的にすべての施設で行っているのですか？

事務局：23施設中16施設で行っています。

委員：児童館と放課後児童クラブは異なりますよね。それも含めてですか？

事務局：分けて統計を取っていないので、来年度は分けて集計します。

事務局：むかわでは児童館と放課後児童クラブが一緒の複合施設になっており、夏休みなど長期休暇の期間は、ボランティアの方と図書館職員が感想文の書き方を教えたり、読み聞かせに行ったり積極的に行っています。

図書館は依頼があれば職員やボランティアさんが必ず出向く体制ができていますが、先生方の考え方もあるので実施していない施設もあるわけです。

委員：取り組む上でいろいろなボランティアさんが関わっていると思いますが、その状況はまとめてありますか？

事務局：図書館が関わっていることについての調査のため、他のボランティア活動については集計しておりません。

配布した冊子『北杜子どもの読書の杜プラン』の20ページに指標（目標）を掲げています。アンケートの内容が細かいこともあり第3次計画の策定委員への意見を伺い2年または3年に1度調査を行うことになりました。来年度は夏休み明けに行いたいと考えています。現状この指標に対して回答できるのは図書館の中の取り組みだけにはなりますが、ブックスタート（※1）で配った本の読書率（活用率）が来年のアンケートでどのような数値が出るのかをお伝えしたいと考えています。また、2歳児検診ではセカンドブック（※2）、学生にはサードブック（※3）という取り組みを行っています。ボランティアさんの協力を得て、ここまできめ細やかに力を入れて取り組んでいることは図書館としてアピールしても良い事業だと思っています。

（※1）ブックスタート：イギリス発祥の行事で、親子で本を通じてコミュニケーションをとってほしいという願いのもと20年ほど前に日本でも広まった。北杜市では7ヶ月検診（7か月相談に名称変更）に図書館職員やボランティアさんが出向き、来た親子に8冊の絵本の中から好きなものを1冊選んでもらってプレゼントしている。

（※2）セカンドブック：ブックスタートのフォローアップ事業。名前を入れたカードを渡し、それを持参して図書館お話し会に来館すれば本をプレゼントするという「本の杜への招待状事業」とドッキングする形で行っている。

（※3）サードブック：未就学児から中学生までを対象に学校司書と図書館司書がそれぞれの年代に合った相応しい本や読んでもらいたい本を選び、それらを冊子にして4月23日の子ども読書の日近くにお渡しする事業。

委員：このような内容はどこかで紹介されていますか？

事務局：やまね便りではボランティアの活動紹介として載せたことがあります。また子育てママパパブログの取材を受けたこともあります。ただ、まだまだ一般的に事業が浸

透していない様子なので周知不足を痛感しているところです。

委員：本の杜への招待状事業で本を受け取りに来る人はまだ33%余りですね。

事務局：1年間有効としましたが、平成29年度では忘れていた方や期限が切れている方でも招待状を持ってきてくだされば配本しました。そのため、現在進行形で46%まで上がってきています。平成30年度は途中経過ではありますが28%で、今後どんどん配本率が上がるように取り組まなければならないと考えています。

さらにブックスタートでの読み聞かせ朗読ボランティア登録数および活動状況として、登録数はのべ204名、うち稼働数は189名で稼働率88.7%となります。

③ その他

特になし

報告

① 各図書館からの近況報告について

*事務局より資料に基づき主なものについて説明

委員：図書館と学習室が分離されておらず静寂が保たれないという意見がありました。中高生の利用を否定するわけではありませんが、分離は必要ではないでしょうか？明野はスペースすらない状況ではありますが、今後の課題としてお願いします。

事務局：1つの市で8つの図書館を維持していくのは金銭的にも大変なことであり、施設の老朽化が進めば修繕費もかさんできている実情があります。要望としてお聞きします。

委員：十分に承知しています。若者も年配者もいろいろ使える情報発信の場であればいいと思います。寝転ぶことができるスペースがあればいいなどの要望もあります。

事務局：意見としてお聞きしました。

質疑応答

委員：システム入替バージョンアップや委託も含めて4千万円は大きいと思いますが、することでどのようなメリットがあるのですか？

事務局：OSについては現在 Windows 7 を使用していますが、マイクロソフトのサポート終了が来年1月に迫っていることもあり、windows10 にバージョンアップすることにしました。OSが変わると図書館システムも windows10 に合わせたものが必要となります。パソコン（ハードウェア）も新しいものに買い替えなければならず、必要に迫られた出費となります。

委員：限られた予算の中で、どのように購入する本を選んでいるのですか？

事務局：本は1日に200～300冊出版されており、年間8万冊にもなると言われています。公共図書館は幅広い分野の中から万遍なく収集する必要がありますが、すべて購入することはできません。そこで1週間に発売された本が載せられたカタログ等

から職員が選び、2週間に1度8館の内のどの図書館で所蔵するかを話し合う会議が設けられます。8館で1つの図書館という考えなので同じ本を複数冊購入することはしませんので、複数の館で所蔵希望がある場合は、「所蔵資料のバランス」や「シリーズものを揃えるかどうか」や「図書館カウンターでの利用者の声」を考慮しながら購入しています。

委員：スタンプラリーのようなイベントを行ったらどうでしょうか？各館がそれぞれ特色を持ったら楽しいのではないのでしょうか？甲州市立勝沼図書館がワイン関係の本をたくさん所蔵していることで「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー」という賞を県内で初めて取りましたね（2018年10月30日）。

事務局：周知不足で皆さんに知られていないことは残念ですが、実は各館はそれぞれ特色を持っています。

- ・明野：環境に関する資料
- ・すたま：森林、農業に関する資料
- ・たかね：山に関する資料
- ・金田一：ことば、方言に関する資料
- ・ながさか：ヤングアダルト（12～18歳向け）、男女共同参画、労働に関する資料
- ・小淵沢：馬、電車に関する資料
- ・はくしゅう：水に関する資料
- ・むかわ：さくら、米に関する資料

委員：今月入った新刊がどこの図書館にあるのかがわかるかと思うのですが？

事務局：ホームページ上ではすぐにわかるようになっていますが、紙では今のところ用意していませんので検討していきます。

会長：合併前は紙で出しているところもあったようですね。紙もお金がかかることですからね。

委員：朝日新聞天声人語（5月25日）に「ニューヨーク公共図書館」というドキュメンタリー映画について書かれていました。素晴らしい内容で、皆さんにも見てもらいたく、何かの機会に上映できたらと思いました。

委員：アメリカの図書館では地下に子ども専用の図書館があって、子どもたちが走り回ったりしていて図書館のイメージが変わりました。

委員：『世界の図書館』という本も興味そそられる内容で、刺激になると思います。

会長：“北杜市図書館”、“中央図書館”、“ながさか図書館”（各館）などいろいろな呼称があるが、どのような位置づけがされているのですか？

事務局：中央図書館は課の名前と考えてください。8つの図書館を統括して行政事務を扱っています。北杜市図書館は8つの館すべてを総称しています。

委員：たとえば、ブックスタートなどはどこの図書館が担当になるのですか？

事務局：ブックスタート事業登録ボランティアの協力を得て、8館の中で担当館を決めて順番で回しています。

その他

事務局：市内8図書館巡りの日程について、

7月11日（木）午後1時30分に金田一図書館に集合してください。

小淵沢→ながさか→はくしゅう→むかわ→明野→すたま→たかね→金田一の順でまわり、半日を予定しております。

事務局：6月29日（土）午後1時30分から土曜ことば楽を開催します。

5月いっぱいまで山梨日日新聞社取締役論説委員長の向山文人さんを講師に迎え、想いを伝える文章を書くを題して講演いただく予定です。ご都合をつけてぜひご参加ください。